

# 異文化間教育学会 第40回大会

## プログラム 目次

異文化間教育学会 第40回大会ご挨拶	1
大会参加者へのご案内	2
大会日程	4
明治大学中野キャンパスへのアクセス・キャンパスマップ	5
会場案内	6
フロアマップ	8
プレセミナー	10
特定課題研究	11
第40回大会企画 公開シンポジウム	13
若手交流会	15
学部生交流会	16
発表について	17
異文化間教育学会「優秀発表賞」について	18
研究発表プログラム	19
個人発表	20
共同発表	26
ケース／パネル発表	30
ポスターセッション	31

## 異文化間教育学会 第40回大会 ご挨拶

2019年6月8日(土)と9日(日)に、記念すべき第40回の大会を、設立40周年記念イベントを含めて明治大学中野キャンパスで開催させていただくことになり、たいへん光栄に存じます。

このキャンパスは、2013年に警察学校跡地に建てられた明治大学の4つ目のキャンパスで、更に歴史を遡れば、将軍徳川綱吉の「生類憐みの令」によって10万頭とも言われる犬が放されていた場所(犬好きの聖地)です。北口駅前にそびえるサンプルラザは建て替えが計画されていますが、中野のランドマークとして(あるいは“ももくろ”の拠点として)一世を風靡した建物で、その隣が区役所です。区役所の道に面して数匹の犬の銅像が鎮座してございますので、ご来校の途中で歴史を感じていただけたらと思います。

中野キャンパスはそこから徒歩5分ほどとなりますが、この地区には、明治大学の他に、帝京平成大学と早稲田大学の国際寮 WISH が並んでおり、新しい大学街の誕生とも言われ、中野区との連携も盛んです。

さて、現在このキャンパスには国際日本学部と総合数理学部という先端的な2つの学部が居を構えて、文理融合のキャンパスを目指しております。国際日本学部には、現学会長と事務局長をはじめ、7名の会員が所属しており(ちなみに、明治大学全体の会員数は11名です)、はりきって大会の準備に取り組んでいます。

設立40周年を記念して開かれる今回の公開シンポジウムは、異文化間教育学大系の第4巻『異文化間教育のフロンティア』で語られたこれからの異文化間教育の可能性を、「ダイバーシティ」をキーワードに展開します。

みなさまのご参加を明治大学所属の学会員一同、心よりお待ち申し上げます。

異文化間教育学会  
第40回大会準備委員会  
委員長 横田 雅弘

# 大会参加者へのご案内

## 大会日程

大会会期：2019年6月8日（土）－6月9日（日）

会 場：明治大学中野キャンパス

※情報交換会：2019年6月8日（土） 18:10-19:10

会場：明治大学中野キャンパス低層棟1階学生食堂

※プレセミナー：2019年6月7日（金） 12:50-16:50

会場：明治大学中野キャンパス高層棟6階プレゼンスペース

## 参加資格

会員・非会員を問わず、どなたでもご参加いただけます。

## 参加申し込み

事前申し込みをされる方は、大会参加費を、5月15日（水）までにお振込みください。

5月16日以降は、大会当日に当日料金をいただくこととなりますことをご了承ください。

### web入力をお願い

5月15日（水）までに参加申し込みを希望される方は、会員・非会員とも以下の第40回大会ホームページ内「参加・発表の申し込み」ページよりお手続きください。

(<http://www.intercultural.jp/iesj201/apply.html>)

## 大会参加費および情報交換会費

		事前料金 (5月15日まで)	当日料金
大会参加費	正会員	5,000円	6,000円
	学生会員	3,000円	4,000円
	通信会員	5,000円	6,000円
	非会員（一般）	6,000円	7,000円
	非会員（学生）	4,000円	5,000円
	維持会員	1口1名様無料	7,000円
	名誉会員	ご招待	
情報交換会	一律1,000円（名誉会員はご招待）		

※お払い込みいただいた参加費などは、理由を問わず返却いたしません。予めご了承ください。

## 情報交換会

学生の皆さん他、できる限りいろんな人に大勢参加していただけるように、情報交換会を開催いたします。会場には軽食、ドリンク、スナックをご用意いたします。是非この機会をご利用ください。

- 参加費をお振込みいただく際は、参加者1名につき1枚の払込取扱票をご使用ください。領収書は、当日に受付でお渡しいたします。

- 6月8日(土)、9日(日)の午前9時より受付を行いません。受付にて名札をお受け取りいただき、大会会期中はその名札をご着用ください。
- 特定課題研究、公開シンポジウム、個人発表、共同発表、ケース/パネル発表、ポスターセッションの発表者および司会者の方は「発表者・司会者受付」にお越しください。
- 会場には一般来訪者用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
- 学生食堂は6月8日(土)14:00まで営業しておりますが、9日(日)は営業いたしません。中野キャンパス東側に隣接する中野セントラルパーク(中野四季の森公園)にあるコンビニ、カフェをご利用下さい。
- 宿泊は各自でご手配ください。
- 本大会の写真、ビデオ撮影をいたします。ご自身が写った写真等の掲載を望まない方は事務局までお申し出ください。

## 連絡先

### 大会・Web申し込み・お支払いに関するお問い合わせ

異文化間教育学会大会ヘルプデスク

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 (株)国際文献社内

E-mail: [iesj-desk@bunken.co.jp](mailto:iesj-desk@bunken.co.jp)

Fax: 03-5227-8632

### 会員登録に関するお問い合わせ

異文化間教育学会事務局会員業務係

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 (株)国際文献社内

E-mail: [iesj-post@bunken.co.jp](mailto:iesj-post@bunken.co.jp)

Fax: 03-5227-8631

### 大会当日に関するお問い合わせ

第40回大会準備委員会

〒164-8525 東京都中野区中野4-21-1

明治大学国際日本学部 横田雅弘研究室内

E-mail: [ibunkakan40@gmail.com](mailto:ibunkakan40@gmail.com)

# 大会日程

	6月7日(金)	6月8日(土)			6月9日(日)	
9:00		9:00-受付(4F-エントランスホール)			9:00-受付(4F-エントランスホール)	
9:30		9:30-12:00 <b>特定課題研究</b> 「異文化間教育における政策と研究者の役割」 (低層棟-5Fホール)			※9:30-18:00 <b>ポスターセッション</b> (6F-プレゼンスペース)	
10:30						
11:30						
12:00						
12:30	12:30-受付 (6F-プレゼンスペース)	12:00-13:00 <b>昼食</b>	12:00-13:00 <b>若手交流会</b> 「若手国際教育家のためのランチ会:海外での研究・留学の意義を考える」 (4F-403教室)	12:00-13:00 <b>各種委員会 紀要編集委員会</b> (406教室)	12:00-13:00 <b>旧研究委員会</b> (409教室)	10:30-12:00 <b>個人発表</b> (4F-403,404,405,406,409,410) <b>共同発表</b> (4F-402,411,412,414教室)
12:50	12:50-16:50 <b>プレセミナー</b> 「未来の異文化間教育実践を創ろうーAppreciative Inquiryを使って語り合い、共に創り出すワークショップ」 (6F-プレゼンスペース)					11:30-13:00 <b>学部生交流会</b> (6F-クロスフィールドラウンジ)
13:00		13:00-14:00 <b>総会</b> (4F-402教室)			13:00-16:00 <b>公開シンポジウム</b> 「異文化間教育とダイバーシティー理論と実践をつなぐ」 (低層棟-5Fホール)	
14:00		14:00-15:00 <b>共同発表</b> (4F-406,409,410,411,412)	14:00-15:30 <b>ケース／パネル</b> (4F-403,404,405教室)			
15:00						
15:30		15:30-18:00 <b>個人発表</b> (4F-404,405,406,409,410,411,412教室)				
16:00						16:00-17:00 <b>ダイバーシティ交流会</b> (6F-プレゼンスペース)
17:00		16:00-17:00 <b>共同発表</b> (4F-403教室)				
17:30	17:30-19:30 <b>理事会</b> (14F-1403室)					
18:00		18:10-19:10 <b>情報交換会</b> (1F-学生食堂)				

※2日目9:30-10:30のポスターセッションについては、発表者に必ず在席していただきます。  
1日目9:30-18:00、2日目10:30-16:00のポスターセッションは、任意の在席となります。

※ 書籍販売は6Fで行っています。

## 明治大学中野キャンパスへのアクセス

会場は、明治大学中野キャンパスです。JR 中野駅 東西線中野駅から徒歩7分です。中野駅（北口）を出て下記の地図を参考にご来場ください。

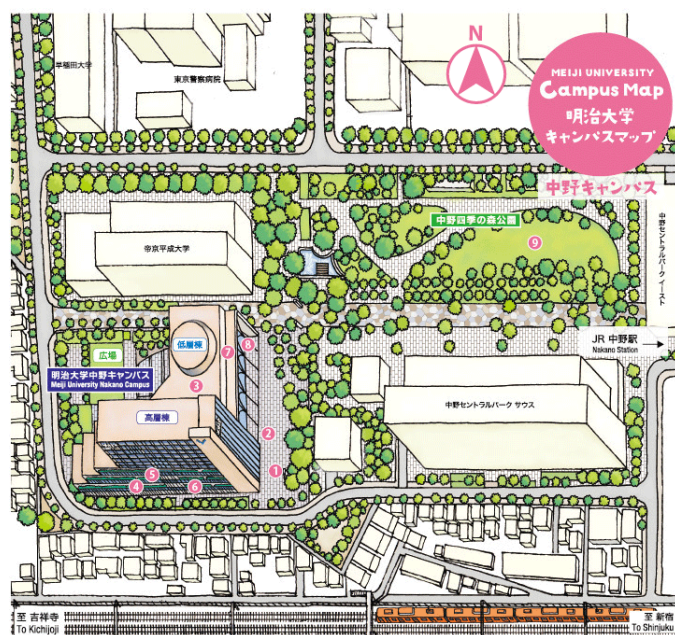


## キャンパスマップ

明治大学は、中野四季の森公園をとって、突き当たりにある左側の建物です。明治大学中野キャンパスはビルです。

高層棟と低層棟があり、受付は、高層棟の4F エレベータを降りた場所です。

図の出典：明治大学中野キャンパスアクセスマップ（2019/4/1 取得）



[https://www.meiji.ac.jp/koho/campus\\_guide/nakano/access.html](https://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/nakano/access.html)

## 会場案内

### 大会前日 6月7日(金)

プレセミナー受付	12:30-	高層棟 6階 プレゼンスペース
プレセミナー	12:50-16:50	高層棟 6階 プレゼンスペース
理事会	17:30-19:30	高層棟 14階 1403室

### 大会第1日 6月8日(土)

受付	09:00-	高層棟 4階 エントランスホール
ポスターセッション	09:30-18:00	高層棟 6階 プレゼンスペース
特定課題研究	09:30-12:00	低層棟 5階 ホール
若手交流会	12:00-13:00	403 教室
各種委員会		
紀要編集委員会	12:00-13:00	406 教室
旧研究委員会	12:00-13:00	409 教室
広報・情報化委員会	12:00-13:00	410 教室
総会	13:00-14:00	402 教室
ケース／パネル	14:00-15:30	403・404, 405 教室
共同発表	14:00-15:00	406・409・410・411・412 教室
	16:00-17:00	403 教室
個人発表	15:30-18:00	404・405・406・409・410・411・412 教室
情報交換会	18:10-19:10	1階学生食堂

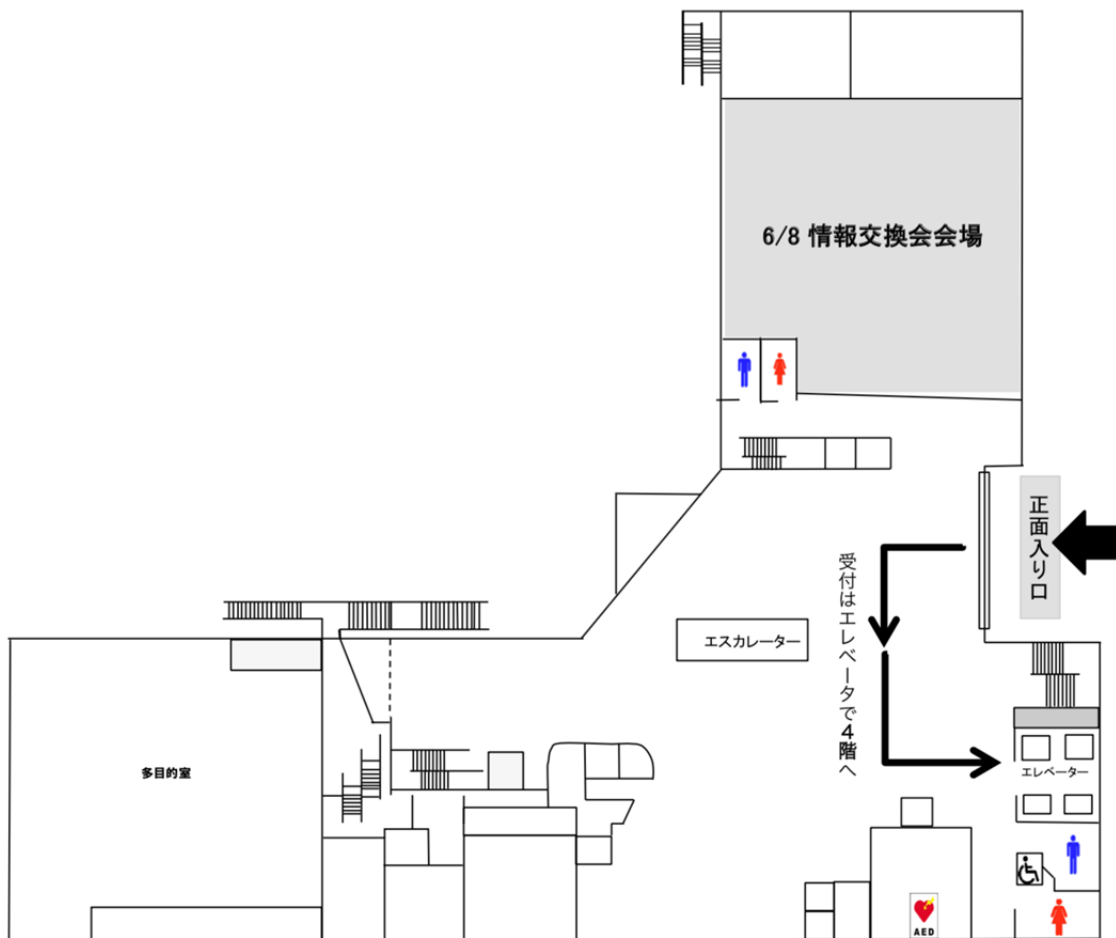
## 大会第2日 6月9日(日)

受付	09:00-	高層棟 4階 エントランスホール
ポスターセッション	09:30-16:00	高層棟 6階 プレゼンスペース 〈ポスター発表(掲示)〉
個人発表	10:30-12:00	403・404・405・406・409・410 教室
共同発表	10:30-11:30	402・411・412・414 教室
学部生交流会	11:30-13:00	高層棟 6階 クロスフィールドラウンジ
各種委員会		
新研究委員会	09:30-10:30	408 教室
若手交流委員会	12:00-13:00	410 教室
企画・交流委員会	12:00-13:00	411 教室
紀要編集常任理事会	12:00-13:00	412 教室
公開シンポジウム	13:00-16:00	低層棟 5階 ホール
ダイバーシティ交流会	16:00-17:00	高層棟 6階 プレゼンスペース
■大会本部・学会本部		408 教室
■休憩室・昼食会場	09:30-18:00	高層棟 6階 クロスフィールドラウンジ
■書籍展示		6階 入り口ホール
■クローク 8日(土)	09:00-18:00	401 教室
9日(日)	09:00-16:00	

※クロークに担当者はつきません。荷物の管理は各自でお願いいたします。また、貴重品等は必ずお持ちください。

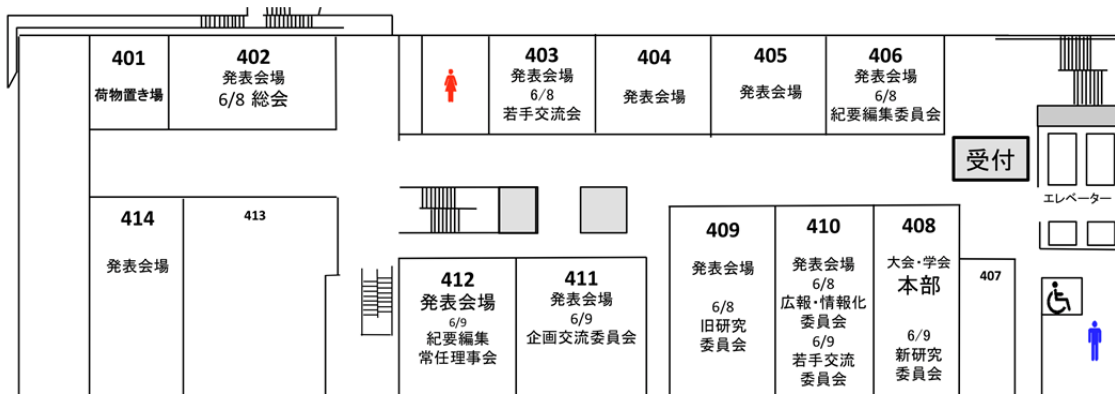


# フロアマップ 1階

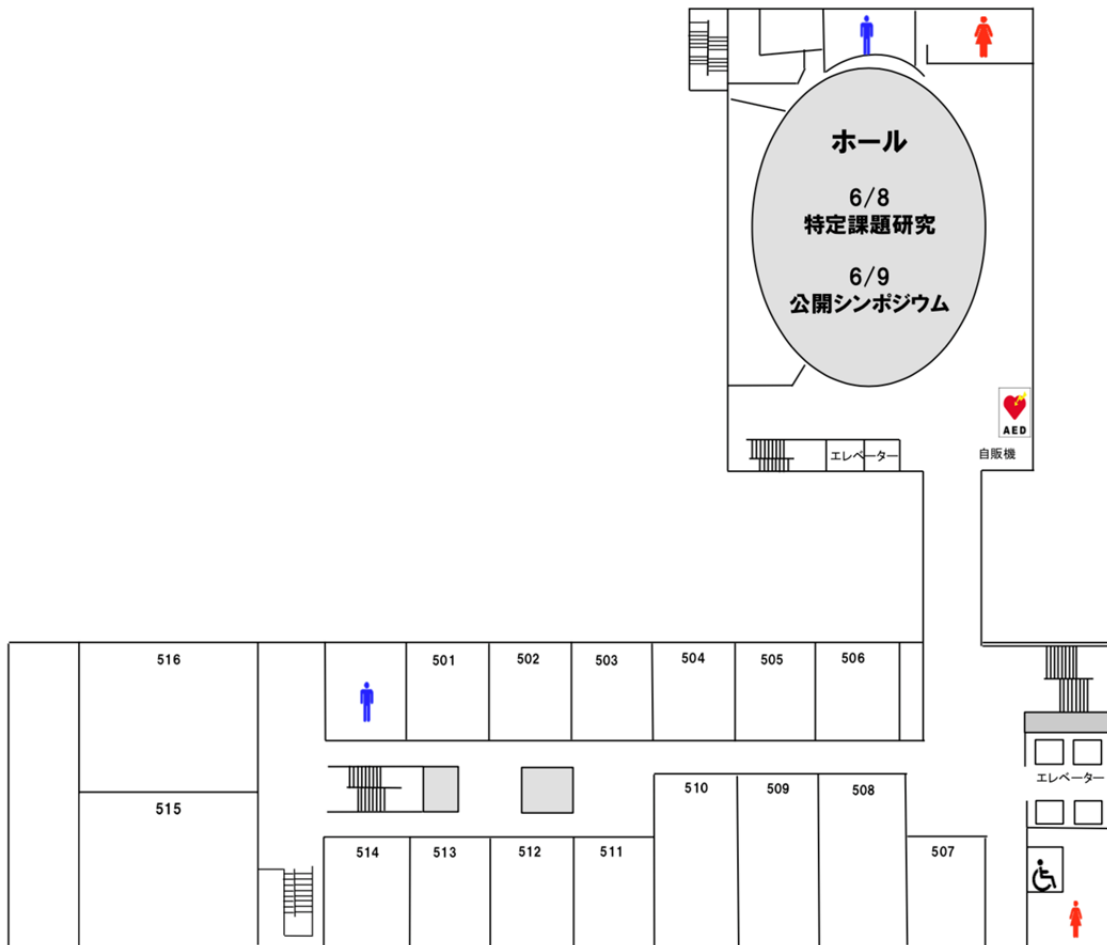


明治大学中野キャンパスはひとつのビルで高層棟と低層棟があります。受付は高層棟の4Fですので、正面入り口を入れてすぐ左側のエレベーターにて4Fへお越しください。

# フロアマップ 4階

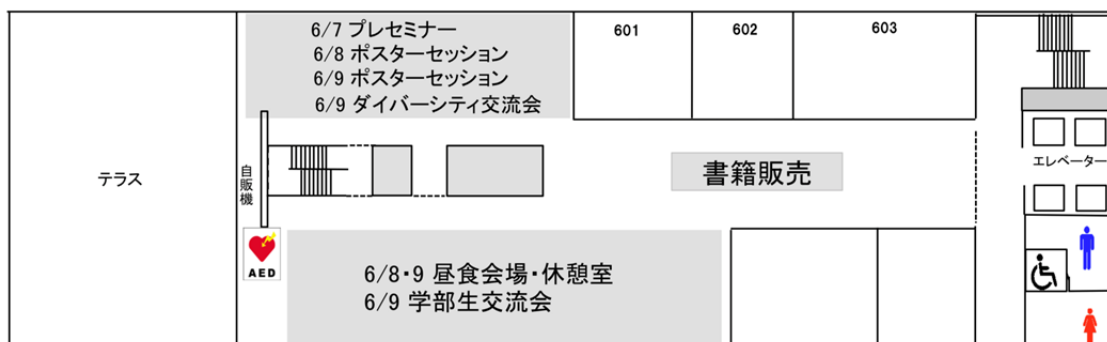


## フロアマップ 5階



特別課題研究（6月8日）および公開シンポジウム（6月9日）が行われるホールへは、5階の渡り廊下を通過して低層階5階へご移動ください。

## フロアマップ 6階



6F はクロスフィールドラウンジで休憩室としてもご利用いただけます。書籍販売も6階にて行います。

# プレセミナー

日時：2019年6月7日（金）12:50～16:50（受付開始 12:30）

場所：明治大学中野キャンパス 6階プレゼンスペース

## 「未来の異文化間教育実践を創ろう

### －Appreciative Inquiry を使って語り合い、共に創り出すワークショップ－

#### ■ 企画趣旨

みなさんはこれまで、どのような異文化間教育実践を行ってきたでしょうか。また、これから、どのような実践をしていきたいと考えているでしょうか。なぜ、そのような実践をしていきたいと考えているのでしょうか。どんな社会を創っていききたいと考えているのでしょうか。

Appreciative Inquiry (AI) は近年、注目されている組織開発の一手法です。個人や組織の強み、ポジティブな側面に焦点を当て、組織として何を目指してどう行動を起こしていきたいのかを、小グループでの対話を通して明確にし、理想の未来をイメージして、行動につなげるというアプローチです。このアプローチは、英国航空、リクルート、マクドナルド、国連などをはじめ、様々な組織で導入されています。AIを使うことで、自分たちの組織のミッションや強みへの理解が深まり、一人一人が Change Maker として主体的に組織や社会を変革していこうと行動していく効果が報告されています。

2019年のプレセミナーでは、異文化間教育の実践者／研究者集団で集まり、この手法を用いて語り合うことを通して、この分野をどのように盛り上げていくことができるかを、チームで考えます。

第40回大会という大きな節目を迎える今大会。私たちにとっての理想の未来を自由に描いてみたいと考え、企画しました。学際的な領域にまたがる分野であるからこそその実践者・研究者の多様性をポジティブなエネルギーに変え、どのように協働していけるかを考えていきましょう。

#### ■ 講師

平井 達也氏（立命館アジア太平洋大学教育開発・学修支援センター長 教授）

略歴：フルブライト奨学生としてミネソタ大学大学院にて博士号（Ph.D.カウンセリング心理学）を取得。ミネソタ大学留学生センターカウンセラー、カリフォルニア大学サンディエゴ校カウンセリングセンターカウンセラー、九州大学非常勤カウンセラー、九州産業大学国際文化学部臨床心理学科常勤講師などを経て、現職。主な専門領域は、キャリアカウンセリング、異文化間カウンセリング、グループアプローチ、ポジティブ心理学。自身の見識を深めるため、2017年4月から9月までサバティカルを利用し、15か国を周り12の研修や学会に参加。

コーディネーター：大船 ちさと氏（国際交流基金 日本語国際センター）

# 特定課題研究

日時：2019年6月8日（土）9:30～12:00（受付開始9:00）

場所：明治大学中野キャンパス5階ホール

## 「異文化間教育における政策と研究者の役割」

### 概要：

昨年度の特定課題研究「政策的視点からの異文化間教育研究」の成果をふまえて、今年度は、異文化間教育の政策や政策過程に対して、研究者はどのような価値観、立ち位置、方法で関わるができるのか、関わるべきなのかについて、政策提言につながる具体的事例を取り上げながら検討する。

司会：馬淵仁（大阪女学院大学）

### 発表：

#### 1. 榎井縁（大阪大学）

「移民政策なき日本社会における外国人支援——地域国際交流協会の提言としての実践」  
大阪府豊中市で25年前に設立された「地域国際交流協会」の実践からの提言である。四半世紀に亘り地方行政との関わりの中で展開された国内では特筆すべき事例から得られる知見には得難いものがある。同時にそこからは「移民政策なき日本社会」における「外国人支援」を試行錯誤することから、さらに大きなコンテクストでの政策への示唆が提示されると共に、ナショナルなレベルでの政策の欠如がもたらす限界性も問われることとなる。

#### 2. 太田浩（一橋大学）

「どうする日本の留学生受入れ——ポスト30万人計画に向けた留学生政策」  
20年以上関わってきた国内の留学生政策を精査することから得られる知見を語る。多岐に亘る論点の中でも、特に2008年度以降の留学生30万人計画は、かつての同10万人計画と異なり、日本語学校生や大学への非正規生（研究生等）の受入によって達成されようとしている実態、そして留学生が非熟練労働者として大きな役割を果たしていることなどを取り上げ、それらをもたらし政策の立案、決定、実施、効果、そして評価について検討する必要性を訴える。

#### 3. 金侖貞（首都大学東京）

「研究者は多文化共生のための政策づくりにどうコミットするのか——識字教育政策の形成を手掛かりに」

国内における直近の「識字政策」を材料にして、研究者がどう政策の形成に関わっていったかを、韓国の事例なども参照しながら考察する。本学会が過去に取り上げた優れたテーマに海外・帰国子女教育問題があったが、日本の基礎教育保障学会が取り上げた識字教育も、研究者たちが政策を動かした数少ない事例である。本発題では、その「制度化」過程から我々が学べる事柄、またメディアなど学会外のアクターとの関わりについても考察を試みる。

**指定討論：**

1. 野山広（国立国語研究所）
2. 工藤和宏（獨協大学）

**全体討議**

※今回は一般公開となっております。  
参加費無料、申し込み不要でどなたでもご参加いただけます。

# 第 40 回大会企画 公開シンポジウム

主催：異文化間教育学会

日時：2019年6月9日（日）13:00～16:00

場所：明治大学中野キャンパス 5階ホール

## 「異文化間教育とダイバーシティ—理論と実践をつなぐ—」

ダイバーシティに富んだ社会づくりについて一緒に考えましょう。ダイバーシティとは、社会の価値観が多様であることを認識し、その違いをお互いに認め合うことです。性別、年齢、国籍、人種、民族、文化、宗教、障害、性的少数者であることなどを理由とする差別がないことはもとより、これらの相違を個性として尊重することです。

異文化間教育学会でもこうした多様な人々を対象に取り込みながら、多文化共生のための研究と実践を進めていく必要があります。このシンポジウムを通して異文化間教育学会としてそこにどうかかわり、その実践を通してどのような価値を創出し、新たな社会づくりを目指すかのヒントを得たいと思います。生活の場である地域、学校、職場でダイバーシティをどのように位置づけていくか、そのためにはどのような取り組みが必要かについて提案します。（理事長：佐藤 郡衛）

### I 部 ダイバーシティと異文化間教育

ダイバーシティを実現するためにはどうするか、理論と実践の両面から提案します。

登壇者：

「ヒューマンライブラリー×ダイバーシティ—偏見の低減のための対話と多様化する実践」

佐藤 裕紀（新潟医療福祉大学健康科学部）

偏見の低減を目的とした対話の取り組みが拡大・多様化している動向を踏まえ、その可能性と課題を提案する。

「演劇×ダイバーシティ—文化実践を変革する場としての演劇」

川島 裕子（大阪成蹊大学教育学部）

ダイバーシティの課題を問うため、身体を〈関係態〉として捉え、日常の文化実践を変革する場として演劇活動をデザインする。

「特権×ダイバーシティ—特権の自覚から始まるダイバーシティ教育」

出口 真紀子（上智大学外国語学部）

マジョリティ特権（労なくして得た優位性）に気づくことで、差別に対する無関心を関心に変える手法

司会：

佐藤郡衛（明治大学国際日本学部）

## Ⅱ部 ダイバーシティの実践

ダイバーシティがビジネスやまちづくりとして社会に根ざすための仕組みについて考えます。

登壇者：

伊藤義博（電通ダイバーシティ・ラボ事務局長）

田村太郎（ダイバーシティ研究所代表理事）

コメンテーター：

酒井 直人（中野区区長）

司会：

横田雅弘（明治大学国際日本学部）

## ダイバーシティ交流会

シンポジウム終了後、6F プレゼンスペースにてシンポジストを交えた交流会を行います。

\*参加費無料、申し込み不要で、どなたでもご参加いただけます。

# 若手交流会

日時：2019年6月8日（土）12:00～13:00

場所：高層棟 403 教室

## 「若手国際教育家のためのランチ会：海外での研究・留学の意義を考える」

### ■ 企画趣旨

2019年度異文化間教育学会では、若手交流委員会の企画として「若手国際教育家のためのランチ会：海外での研究・留学の意義を考える」と題して、2名の先輩国際教育家（堀江未来会員、小林聡子会員）をパネリストとしてお招きし、ご自身の体験談を交えながら海外での学業や研究経験の意義について、キャリアパスにも触れていただきながら伺います。後半は、参加者の皆さんとパネリストとの質疑応答を行います。これらを通じて、海外における学業・研究経験が、特に若手の国際教育家にとって、キャリアや人生にどのような意義を持ちうるのかについて考えます。自称「若手」の方であれば、どなたでも参加できます。各自で昼食を持ち寄り、昼食を取りながらアットホームな雰囲気での交流を予定しています。ふるってご参加ください。

さらに同日夜には、若手同士の情報共有やネットワークづくりを目的とした懇親会を別途開催する予定です（飲食代を徴収します）。

### ■ プログラム

12:00 - 12:05	開会挨拶・海外留学のインパクト調査より
12:05 - 12:25	先輩研究者による経験談①
12:25 - 12:45	先輩研究者による経験談②
12:45 - 12:55	質疑応答
12:55 - 13:00	アンケート記入・閉会挨拶

### ■ パネリスト

堀江未来（立命館大学国際教育推進機構教授）

小林聡子（千葉大学国際教養学部助教）

### ■ 懇親会（19：30～）

【場所】bistro&grill 「me at park」

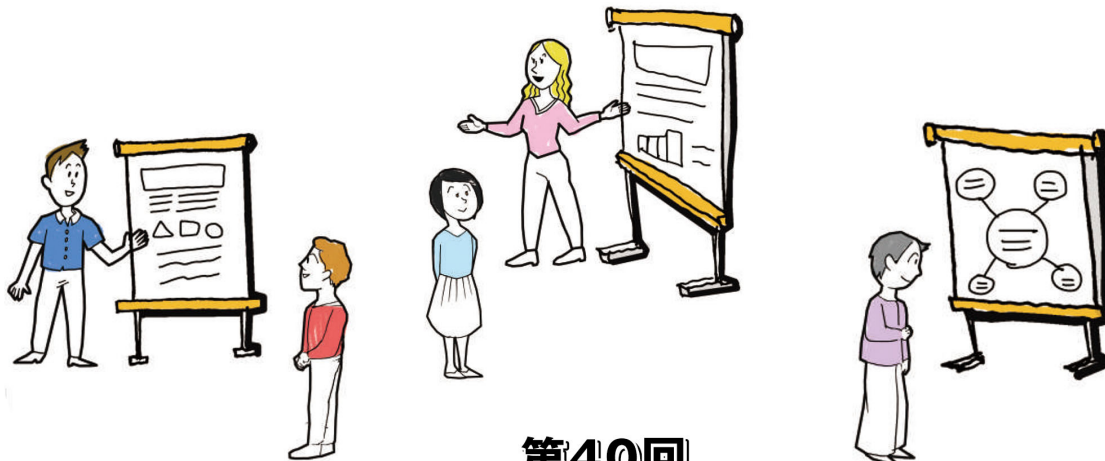
住所：東京都中野区中野 4-10-2 TEL：050-3461-6424

[https://r.gnavi.co.jp/j50usk7p0000/?utm\\_id=type-t\\_p-nashi\\_gdm9047\\_top\\_pc\\_y\\_lis](https://r.gnavi.co.jp/j50usk7p0000/?utm_id=type-t_p-nashi_gdm9047_top_pc_y_lis)

### 【参加費】

4000 円前後





第40回

# 異文化間教育学会全国大会

## 学部生交流会に参加しよう！

第40回全国大会で、異文化間教育に関心のある学部生同士の交流会を実施します。  
様々な大学から集まった学部生たちと、研究や実践について語り合しましょう！

### Event Schedule

**2019年6月9日(日)開催！参加費無料！**

- 開催日 : 2019年6月9日(日)  
時間 : 11:00集合 11:30～13:00  
場所 : 明治大学中野キャンパス 6F クロスフィールドドラウンジ  
内容 : ゼミで取り組んでいる研究や活動についてポスター発表  
参加費 : 無料  
応募締切 : 5月20日(月) 18:00時間厳守



応募・お問い合わせは  
こちらから

※指導教員の参加は必要ではありません。



# 発表について

研究発表は、以下の種別で行なわれます。発表者、題目、時間帯、会場などの詳細は、それぞれの部会のページをご覧ください。

個人発表

共同発表

ケース／パネル発表

ポスターセッション

## ■ 発表要領

### 1. 発表時間（交代時間を含む）

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| A. 個人発表      | 30分（発表20分、質疑応答10分） |
| B. 共同発表      | 60分（発表40分、質疑応答20分） |
| C. ケース／パネル発表 | 90分（発表50分、質疑応答40分） |

※会場での運営は、各グループでお願いいたします。

参加者による質疑応答の時間を確保するようご配慮ください。

- |              |                                       |
|--------------|---------------------------------------|
| D. ポスターセッション | 6月8日（土）09:30-18:00、6月9日（日）09:30-16:00 |
|--------------|---------------------------------------|

会場は09:00からご準備いただけます。

6月9日（日）09:30-10:30の時間帯は必ず在席してください。

6月8日（土）09:30-18:00、6月9日（日）10:30-16:00は任意の在席となります。

2日目 16:00までにポスターを撤去して下さい。撤去されないポスターは、事務局で処分致します。

ポスターのサイズはA0（横84.1cm×縦118.9cm）の範囲内でご準備下さい。

### 2. 配布資料

- ・ハンドアウトを配布される方は、1発表につき30部程度ご用意ください。なお、大会準備委員会では印刷を受けすることはできませんことを予めご了承ください。
- ・停電などによりPCが使用できない場合にお備えください。

### 3. 発表に使用する機器等について

- ・会場校にて各教室にPCとプロジェクターを用意しておりますが万が一接続などの問題が発生した場合に備え、ご自身のノートPCもお持ちください。Macの場合はアダプターもご用意ください。プロジェクターへの接続は、RGB入力およびHDMI出力が可能です。ご発表のセッションが始まる前に、各自接続し動作確認等を行って下さい。
- ・機材の操作は発表者ご自身で行ってください。
- ・インターネット接続につきまして、学内WiFiはご利用になれません。各自でご準備ください。ただし、キャンパス内の全ての無線アクセスポイント設置個所でeduroamの利用が可能です。ご所属の機関で発行されているIDでご利用ください。なお、明治大学の契約しているISPの制約上、外方向TCPポート25番の通信はブロックされます。

### 4. 発表者欠席の場合

- ・やむを得ない事情により発表者が欠席する場合には、できるだけ前日までに大会準備委員会宛にメールでご連絡ください。

※第40回大会準備委員会 e-mail: [ibunkakan40@gmail.com](mailto:ibunkakan40@gmail.com)

- ・発表取りやめがあっても、プログラムの繰り上げはいたしません。

### 5. その他

- ・発表者は必ず教室内で待機するようお願いいたします。教室内にいない場合は、発表辞退とみなします。

## 異文化間教育学会「優秀発表賞」について

異文化間教育学会では、異文化間教育学の発展を期して、会員の研究発表を奨励し、研究発表の向上を図ることを目的として、「優秀発表賞」を設けています。この賞は、若手の研究者を対象とし、当該大会における「個人研究の個人発表」の中から、優秀と評価された発表に与えられるものです。

大会 HP 等でも示してあるとおり、優秀発表賞の審査を受けるためには、発表者自身が受賞資格の条件（注）のいずれかに該当することを申告し、審査対象となる意思を表明する必要があります。

審査方法についてはエントリーされた発表ごとに2名の評価者（研究委員会により委嘱）が会場で評価します。選考方法については、学会 HP に掲載してある選考手続きおよび規定に基づき、別途、優秀発表賞審査委員会を設置します。その後、本賞は審査委員会による選考が行われ、理事会の承認を得て決定されます。

「優秀発表賞」の実施にあたり、どうぞ大会参加会員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。なお、優秀発表賞の選考方法（選考の手続き、審査対象・審査基準）については、学会 HP をご覧ください。

（注）発表者が応募時に以下のいずれかに該当する場合、受賞資格を有するものとする。

- ・大学院修士課程もしくは大学院博士課程に在学中である
- ・修士課程修了後10年以内である  
（複数の修士課程を修了した場合は、最後に修了した修士課程が対象）
- ・最終学歴が学部卒業の場合は、卒業後12年以内である

修了後の期間は、修了・卒業月の末日を修了日として起算する

例えば、大学院修士課程修了者で、3月修了の場合は、3月31日を修了日として、10年後の3月31日までが受賞資格を有する期間とする。

異文化間教育学会  
理事長 佐藤郡衛

# 研究発表プログラム

## 個人発表

6月8日(土)	15:30-18:00	404/405/406/409/410/411/412 教室
6月9日(日)	10:30-12:00	403/404/405/406/409/410 教室

## 共同発表

6月8日(土)	14:00-15:00	406/409/410/411/412 教室
	16:00-17:00	403 教室
6月9日(日)	10:30-11:30	402/411/412/414 教室

## ケース／パネル発表

6月8日(土)	14:00-15:30	403/404/405 教室
---------	-------------	----------------

## ポスターセッション

6月8日(土)	09:30-18:00	6階プレゼンスペース
6月9日(日)	09:30-16:00	6階プレゼンスペース

**2日目 9:30-10:30 のポスターセッションについては、発表者は必ず在席していただきます。**

**1日目 9:30-18:00、2日目 10:30-16:00 のポスターセッションは、任意の在席となります。**

## 個人発表

404

6月8日

司会：野山 広（国立国語研究所）

16:00—16:30 子育て中の親の異文化理解—外国から来た親の抱える問題に対する認識—  
久津木 文（神戸松蔭女子学院大学）

16:30—17:00 移住女性の“#MeToo”行動と社会参与  
—韓国移住女性人権センターにおける実践と展開—  
藤田 美佳（（公財）奈良市生涯学習財団・奈良教育大学）

17:00—17:30 外国人移住女性とノンフォーマル教育  
南 紅玉（東北大学大学院教育学研究科）

17:30—18:00 日系ペルー人の親の子どもに対する期待の影響要因  
—社会における親の人的関係性に着目して—  
俵 加奈子（お茶の水女子大学大学院博士後期課程）

## 個人発表

405

6月8日

司会：小松 翠（東京工業大学）

16:00—16:30 独立心はどのように発達していくか  
—ノルウェー人の若年齢層と高年齢層の比較から—  
鈴木 京子（首都大学東京）

16:30—17:00 マイノリティ教育 教科書の内容と若者の関心  
ボンディ クリストファー（国際基督教大学）

17:00—17:30 スーパーグローバル大学創成支援事業採択校における  
国際化の評価指標に関する調査分析  
天木 勇樹（明治大学）

## 個人発表

406

6月8日

司会：小口 功（近畿大学）

15:30—16:00

大学における社会的正義のための教育にむけた試み  
—特権性と抑圧の理解の授業実践を通して—

青木 香代子（茨城大学）

16:00—16:30

日本人の大学生における台湾に対する意識  
—異文化接触によるアイデンティティと意識の変化—

呂 宜静（熊本学園大学大学院）

16:30—17:00

社会正義と教師教育実践の考察—関係性の組み替えに注目して—

齋藤 眞宏（旭川大学）

17:00—17:30

多文化教育の中心課題である「公正な社会的判断力の育成」の方法論的検討

川崎 誠司（東京学芸大学）

17:30—18:00

多文化主義社会におけるナショナル・アイデンティティの教育的位置づけ  
～カナダのグローバル・シティズンシップ教育に着目して～

由井 一成（学習院大学）

## 個人発表

409

6月8日

司会：守谷 智美（岡山大学）

15:30—16:00

日本国内における日本人の留学生との親友関係構築と維持のプロセス

張 銀暁（武蔵野大学言語文化研究科）

16:00—16:30

中国からの留学生のアイデンティティの多様性に着目する  
—「語り」を通して他者理解を深める—

越野 香子（東京福祉大学）

16:30—17:00

モンゴル人学生の日本留学動機

今井 智絵（横浜国立大学大学院生）

17:00—17:30

留学生にとっての「居場所」とは—国費外国人留学生へのインタビュー調査から—

中村 彩希（東京外国語大学大学院）

17:30—18:00

日本での留学経験が元留学生外国人社員の職場での異文化適応に与える  
影響に関する—考察

郷司 寿朗（広島大学大学院博士後期課程）

## 個人発表

410

6月8日

司会：堀江 未来（立命館大学）

- 16:00—16:30 多文化共修科目の可能性—4年間の振り返りと展望  
岡 智之（東京学芸大学）
- 16:30—17:00 第二言語としての日本語の作文添削における大学生の学びの可能性と課題  
—大学での年少者日本語教育の授業実践からの考察—  
鎌田 美千子（宇都宮大学）
- 17:00—17:30 事前・事後学習としてのレポート執筆—ブルネイでの海外短期研修の実践から  
瀬尾 匡輝（茨城大学）
- 17:30—18:00 協働学習場面「座談」における課題達成の相互行為  
—参加者の多様性に注目して—  
吉野 文（千葉大学）

## 個人発表

411

6月8日

司会：拝野 寿美子（神奈川大学）

- 15:30—16:00 外国人技能実習生と日本人の相互イメージの形成  
—ベトナムでの送り出しの実態調査から—  
塩入 すみ（熊本学園大学）
- 16:00—16:30 多文化共生の学校づくり—横浜市を事例として—  
山脇 啓造（明治大学）
- 16:30—17:00 紛争時がシリア人日本語学習者の学習動機に与える影響  
—複線径路・等至性アプローチを用いて—  
中山 裕子（一橋大学言語社会研究科）
- 17:00—17:30 ブラジル学校における進路支援の現状と課題  
ヨシイ オリバレス ラファエラ（東京大学大学院）
- 17:30—18:00 外国人非集住地域におけるマイノリティ支援の制度化過程  
—秋田市におけるボランティア団体の活動事例から—  
坪田 光平（職業能力開発総合大学校）

## 個人発表

412

6月8日

司会：新倉 涼子（千葉大学国際未来教育基幹 グランドフェロー）

15:30—16:00

九分割統合絵画法で見る異文化適応の移行体験  
—アメリカ人英語教師の日本一年間—

久本 真由美（立命館大学）

16:00—16:30

一条校導入から検討する国際バカロレア教師の専門性  
—ディプロマ・プログラム言語 A（日本文学）教師に焦点を当てて—

高松 美紀（東京都立国際高等学校）

16:30—17:00

日韓姉妹校交流政策の現状と課題—韓国の地方教育行政機関の政策を中心に—

出羽 孝行（龍谷大学）

17:00—17:30

継承日本語学校における教員と運営者の関係  
—教員が働きにくさ／働きやすさを感じるのはどんなときか—

瀬尾 悠希子（獨協大学）

## 個人発表

403

6月9日

司会：川崎 誠司（東京学芸大学）

10:30—11:00

帰還した新二世の「ホーム」をめぐる経験  
—グアムから日本の大学に進学した日本人青年を事例に—

芝野 淳一（大阪成蹊大学）

11:00—11:30

サンフランシスコ・新一世の異文化適応の課題

田中 真奈美（東京未来大学モチベーション行動科学部）

11:30—12:00

補習校との狭間で：ライフストーリーにおける名乗りと名付けの相互行為的分析

小林 聡子（千葉大学）



## 個人発表

404

6月9日

司会：橋本 博子

- 10:30—11:00 異なる学生グループ間の「国際化」の定義の比較に見る  
これからの大学国際化の可能性—国立大学における事例から—  
水松 巳奈（東北大学）
- 11:00—11:30 定時制高校における参加型アクションリサーチの可能性と課題  
—居場所づくりの協働実践をふりかえる—  
徳永 智子（筑波大学）
- 11:30—12:00 日本人グローバルリーダーの特徴に関する質的研究  
平井 達也（立命館アジア太平洋大学）

## 個人発表

405

6月9日

司会：河野 俊之（横浜国立大学）

- 10:30—11:00 多言語環境にある子どものことばに対する質的研究の意義と課題  
—逸脱した事例の再評価—  
谷口 ジョイ（静岡理工科大学）
- 11:00—11:30 継承語としての地域子どもベトナム語教室の実践  
—参与観察と青年のインタビュー調査から—  
藪田 直子（大阪大学大学院）
- 11:30—12:00 就学前の子どもの複言語発達を支える保育に求められる専門性  
内田 千春（東洋大学）

## 個人発表

406

6月9日

司会：山ノ内 裕子（関西大学）

- 10:30—11:00 学校段階別にみる多文化教育展開の困難と可能性  
—教員の再分配する資源に着目して—  
伊藤 莉央（大阪大学大学院）
- 11:00—11:30 補習授業校における総合学習型日本語プログラムの開発  
近田 由紀子（目白大学）
- 11:30—12:00 夜間中学における外国人生徒の学び  
高橋 朋子（近畿大学）

個人

共同

ケース／パネル

ポスター

個人発表

409

6月9日

司会：田崎 敦子（東京農工大学）

10:30—11:00

ESL教育と異文化教育—学生の意識変遷と心理的葛藤—

大味 潤（東京経済大学非常勤講師）

11:00—11:30

非英語母語話者とのコミュニケーションに対する意識

—日本人英語学習者の自由記述から—

加藤 あや美（桜花学園大学）

11:30—12:00

日本人英語学習者の留学時のアイデンティティ形成プロセスに関する一考察

山川 健一（安田女子大学）

個人発表

410

6月9日

司会：野津 隆志（兵庫県立大学）

10:30—11:00

実践の可視化と価値の物語化から捉える実践の評価

—多文化共生を創造する学校変革の事例から—

南浦 涼介（東京学芸大学）

11:00—11:30

地域と連携したニューカマーの子どもの学習支援におけるメディア活用

— NPO の協働の現場からの実践報告 —

辻野 理花（甲南大学）

## 共同発表

406

6月8日

司会：徳井 厚子（信州大学）

14:00—15:00

産官学連携による多言語化プロジェクトの試み—秋田県内のホテルにおける実践—

阿部 祐子（国際教養大学）

行木 瑛子（国際教養大学）

## 共同発表

409

6月8日

司会：花井 理香（関西学院大学）

14:00—15:00

在韓移住労働者の韓国語能力についての考察  
—雇用許可制韓国語能力試験模擬試験結果から—

松崎 真日（福岡大学）

吹原 豊（福岡女子大学）

磯野 英治（名古屋商科大学）

助川 泰彦（東京国際大学）

## 共同発表

403

6月8日

司会：額賀 美紗子（東京大学）

16:00—17:00

多様化する補習授業校の現状と課題—児童生徒および管理職への大規模調査より—

渋谷 真樹（奈良教育大学）

岡村 郁子（首都大学東京）

佐藤 郡衛（明治大学）

近田 由紀子（目白大学）

見世 千賀子（東京学芸大学）

個人

共同

ケース／パネル

ポスター

共同発表

410

6月8日

司会：加賀美 常美代（目白大学）

14:00—15:00 一時滞在者から定住者へ：主観的ウェルビーイングからの理論化の試み

浅井 亜紀子（桜美林大学）

箕浦 康子（お茶の水女子大学）

共同発表

411

6月8日

司会：西原 鈴子（特定非営利活動法人日本語教育研究所）

14:00—15:00 文化間移動をする子どもの教育を担う「多文化教員」の研修  
—文部科学省「外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム開発  
事業」における検証事例から—

齋藤 ひろみ（東京学芸大学）

浜田 麻里（京都教育大学）

菅原 雅枝（東京学芸大学）

和泉元 千春（奈良教育大学）

市瀬 智紀（宮城教育大学）

河野 俊之（横浜国立大学）

川口 直巳（愛知教育大学）

中川 祐治（福島大学）

仲本 康一郎（山梨大学）

中山 あおい（大阪教育大学）

共同発表

412

6月8日

司会：山本 良太（東京大学）

14:00—15:00 学習課題を伴うフィールドトリップにおける機能的多文化小集団の形成

秦 喜美恵（立命館アジア太平洋大学教育開発・学修支援センター）

中野 祥子（山口大学教育機構留学生センター）

田中 共子（岡山大学大学院社会文化科学研究科）

## 共同発表

402

6月9日

司会：秋庭 裕子（一橋大学）

10:30—11:30 立命館キャンパスアジア・プログラム学生はどのようにマルチリンガルに育ったのか  
—カリキュラム、成果、意義—

湯川 笑子（立命館大学文学部）

清田 淳子（立命館大学）

庵途 由香（立命館大学）

## 共同発表

411

6月9日

司会：小林 亮（玉川大学）

10:30—11:30 日本の教育経験の活用した教育改革の取り組み  
—ミャンマー、フィリピン、カンボジアでの異文化間協働の事例から—

岸 磨貴子（明治大学）

山本 良太（東京大学）

今野 貴之（明星大学）

時任 隼平（関西学院大学）

## 共同発表

412

6月9日

司会：出羽 孝行（龍谷大学）

10:30—11:30 「見せない」実践：子どもの本名と通名についての移民家庭の子育て戦略

長江 侑紀（東京大学大学院）

高橋 史子（東京大学）

個人

共同

ケース／パネル

ポスター

共同発表

414

6月9日

司会：横須賀 柳子（国士舘大学）

10:30—11:30

留学目標の意識と能力の変化

—留学前後の JAOS アセスメントテスト結果からの考察—

新見 有紀子（東北大学）

阿部 仁（一橋大学）

星 洋（行動特性研究所）

ケース／パネル発表	403	6月8日
-----------	-----	------

14:00—15:30      多文化環境における国際児のこころの発達と発達障害をめぐって

共同発表者,司会者	鈴木 一代 (埼玉学園大学)
共同発表者	大西 晶子 (東京大学)
共同発表者	津田 友理香 (四谷ゆいクリニック)
共同発表者	李 原翔 (玉川大学)
ディスカッサント	佐野 秀樹 (東京学芸大学)

ケース／パネル発表	404	6月8日
-----------	-----	------

14:00—15:30      「異文化体験から学ぶ」教育実践の質向上を目指して  
—国際教育ファシリテーター育成の現状と展望—

共同発表者,司会者	堀江 未来 (立命館大学)
共同発表者	秋庭 裕子 (一橋大学)
共同発表者	高木 ひとみ (名古屋大学)
共同発表者	筆内 美砂 (立命館大学)
ディスカッサント	平井 達也 (立命館アジア太平洋大学)

ケース／パネル発表	405	6月8日
-----------	-----	------

14:00—15:30      アートベース研究—学校における多様性を考える—

共同発表者	川島 裕子 (大阪成蹊大学)
共同発表者,司会者	岸 磨貴子 (明治大学)
共同発表者	三宅 貴久子 (東京学芸大学)
共同発表者	村田 観弥 (大阪成蹊大学)
ディスカッサント	佐藤 郡衛 (明治大学)

個人

共同

ケース／パネル

ポスター

ポスター発表

6階プレゼンスペース

6月8日：09：30～18：00

6月9日：09：30～16：00

2日目 9:30-10:30 のポスターセッションについては、発表者は必ず在席していただきます。

1日目 9:30-18:00、2日目 10:30-16:00 のポスターセッションは、任意の在席となります。

**1. 地元コミュニティとの関わりから育つ日本語・インターカルチュラル能力**

—豊岡市・ビクトリア大学共催短期滞在型日本語プログラムの考察から—

野呂 博子（ビクトリア大学）

**2. 異文化共生のまちづくりの可能性—ヒューマンライブラリーによる架橋型社会関係資本の育成—**

坪井 健（東京ヒューマンライブラリー協会）

**3. 多文化的キャンパス風土形成への国内出身学生の参画様式**

大西 晶子（東京大学）

**4. 特別支援学級に在籍している外国ルーツの子どもたち**

三浦 美恵子（国際医療福祉大学（大田原キャンパス））

**5. 小学生の英語学習に対する動機づけと異文化経験**

田中 佑美（滋賀大学）

**6. 父母のワーク・ライフ・バランスと育児の協同：日本・オランダ・イギリスの比較**

佐藤 淑子（鎌倉女子大学）

**7. 非専門家ゆえに可能な戦争の授業—戦争をめぐる日本語教育実践（2）—**

萩原 秀樹（インターカルト日本語学校）



8. 教育価値観と日本語教師に対する葛藤の関連—ベトナム人留学生の場合—

數野 彩 (東京千代田日本語学校)

9. 多文化環境の混住寮で育まれる学び—学習環境デザインに着目して—

吉田 千春 (中央大学法学部)

10. 国際交流活動は多様性に対する理解を促進できるか—小中学生と留学生の交流活動の事例から—

米本 和弘 (東京医科歯科大学)

11. 教員養成課程学生の外国人児童生徒等教育に関するピリーフ

河野 俊之 (横浜国立大学)

12. 留学生急増国からの日本留学生の就職における課題—インタビュー調査の結果から—

岡村 郁子 (首都大学東京)

黄 美蘭 (首都大学東京)

竹田 恒太 (首都大学東京)

13. ダブルディグリー・プログラムにおける中国人留学生のソーシャル・サポート

—受けているサポートと必要とするサポートに着目して—

張 慧穎 (お茶の水女子大学)

14. ゼミプロジェクト「ヒューマンライブラリー」司書役の変容

: HL を体験するゼミ生の心の動きに影響する意味づけの要因について

山下 美樹 (麗澤大学)

**15. ボランティア活動を通しての学生の気づき****—外国にルーツをもつ子どもたちへの支援報告より—**

西山 幸子（愛知教育大学外国人児童生徒支援リソースルーム）

川口 直巳（愛知教育大学外国人児童生徒支援リソースルーム）

**16. 外国人相談員・日本人コーワーカーの語りにもみる「協働」の捉え方**

徳井 厚子（信州大学）

**17. 日本語学習者の産出に必要とされるロジカルシンキング**

黄 英哲（台中科技大学）

**18. 「留学生」の変遷—日本における「留学生」をとりまく環境と時代の変化の中で考える—**

有川 友子（大阪大学）

**19. 日本文化における「察する」という概念習得のプロセスが日本語学習とどのように連動するか****—日本語上級学習者のインタビュー分析から—**

小平 由美（早稲田大学人間科学研究科）

藤城 晴佳（早稲田大学人間科学学術院）

**20. 留学生を対象としたマインドフルネス促進プログラム導入の試み**

小松 由美（東京外国語大学大学院国際日本学研究院）

**21. 外国人児童生徒教育を学ぶ日本語教員養成課程の学生の気づきと変容—支援人材の育成にむけて—**

菅原 雅枝（東京学芸大学 国際教育センター）

**22. 台湾における東南アジア言語の発展—「たいまつプログラム」から「新住民言語」へ—**

黄 琬茜 (同志社大学)

**23. 大学初年次生を対象とした国際共修の効果に関する一考察 —事前の海外経験の有無を中心に—**

仙石 祐 (信州大学学術研究院総合人間科学系 (グローバル教育推進センター))

**24. 日本と中国の高校生の対話的異文化理解の試み—日本の高校生の変化—**

渡辺 忠温 (東京理科大学)

**25. ドイツの移民・難民対象の語学教師研修に見られたトランスカルチャー**

足立 祐子 (新潟大学)

松岡 洋子 (岩手大学)

**26. 多文化共生社会へ向けた在日コリアンとの学生交流企画の試み**

斎藤 敬太 (津田塾大学非常勤講師)

**27. グローバルな視点から地域課題を考える課題設定型海外研修の企画と実践**

尾中 夏美 (岩手大学)

平井 華代 (岩手大学)

松岡 洋子 (岩手大学)

**28. 異文化理解能力の育成をめざした授業モデル構築の試み**

大船 ちさと (国際交流基金)

木谷 直之 (国際交流基金)

二瓶 知子 (明治大学)

**29. 若者が考える「エイジング」**

久保田 真弓（関西大学）

海道 朋美（関西大学大学院）

山野井 優人（関西大学大学院）

**30. 地域学習支援教室における支援者の役割と意識の変化**

—外国ルーツの子どもへの高校進学支援に携わって—

田口 香奈恵（東海大学国際教育センター）

**31. 音楽科教育における多様性の認識と協働について—スペインの身体表現教材の検討を通して—**

桐原 礼（信州大学）

**32. 1年間の留学経験が日本人教員の外国語指導不安に与える効果**

—留学経験を通して得る自信に着目して—

會田 篤敬（岩手大学）

**33. 混血児・国際児・ハーフ研究の歴史的展開**

マクナーラン 晶子（明治大学大学院国際日本学研究科）

**34. 留学生に対するキャリアサポートと日本語教師に必要な能力**

—教師歴10年以上の教師が必要と考える異文化理解力とは—

酒井 彩（九州大学）

**35. 多言語環境で育つ子どもの発達と言語に関する理論的考察****—学校教育におけるアセスメントツール作成の試み—**

鈴木 ゆみ（関西学院千里国際）

加納 重美（関西学院千里国際）

**36. 大学の日本語教育専門科目における教員養成のための学び—大学生の記述から見える学びの可能—**

嶽肩 志江（横浜国立大学・東洋大学）

**37. 韓国における多文化家庭の子どもへの大学生メンタリング効果に関する研究**

申 芸花（九州大学大学院）

**38. 在ベトナム日本人の食の文化受容と異文化適応**

中野 祥子（山口大学留学生センター）

田中 共子（岡山大学大学院社会文化科学研究科）

**39. PBL 方式による日本語クロスワードパズル作成ワークとその教育効果の検討**

潘 英峰（日中文化芸術専門学校、和歌山大学）

宇田 紀之（日中文化芸術専門学校、中京大学）

**40. 教育現場における「保護者に伝わるやさしい日本語」****—幼稚園の配布文書「感染症のお知らせ」からみる課題点—**

西尾 広美（首都大学東京）